

# 中学校「職場体験」に関するアンケート調査 報告書

2012（平成24）年7月

新潟青陵大学 看護福祉心理学部

岩崎研究室

## 目 次

謝辞----- ( ii )

調査の概要----- ( iii )

【 0 】 回答者の属性----- ( 1 )

【 I 】 「職場体験」に関する“一連の学習活動”の概要----- ( 4 )

【 II 】 “一連の学習活動”実践上の留意点、成果・課題----- (12)

【 III 】 「総合的な学習の時間」全般についての意識----- (19)

【 IV 】 「職場体験」全般についての意識----- (21)

## 巻末資料

・ 質問紙の実際

## 謝 辞

このたびは、ご多用のなか、中学校「職場体験」に関するアンケート調査にご協力をいただきまして、まことにありがとうございました。

おかげさまをもちまして、多くの先生方から、貴重なデータとともに、有益なご意見・ご要望等を頂戴することができました。

本冊子では、アンケート調査結果の概要（単純集計結果）をご報告いたします。お預かりしたデータは今後、キャリア教育や「総合的な学習の時間」に関する研究等に、有効に活用させていただく所存です。

なお、統計学的に分析・考察した内容につきましては、過日名古屋市で開催されました日本カリキュラム学会において報告いたしました。その際、口頭発表で用いたスライドを巻末資料2として収録しましたので、ご覧ください。

校長先生をはじめとする諸先生方におかれましては、本冊子が、ご勤務校において「職場体験」等を計画されたり、実践されたりする際の一助になれば幸いです。

最後になりましたが、本アンケート調査の実施に際しましてご指導・ご協力を頂戴した新潟県中学校教育研究会、新潟県立教育センター、新潟県生活科・総合的な学習研究会の関係各位に、衷心より御礼申し上げます。

また、本アンケート調査は、日本学術振興会「科学研究費助成事業」基盤研究（C）（課題番号 23531264）の研究助成を受けて行われたことを申し添えて、感謝のことばといたします。

2012 年 7 月 7 日

新潟青陵大学 看護福祉心理学部

教授 岩 崎 保 之

## 調査の概要

### 調査の目的

中学校「職場体験」に関する教育課程、実施状況、教員意識等を調査することを通して、「総合的な学習の時間」の趣旨にそった職場体験カリキュラムの在り方を明らかにするための基礎データを収集することを目的とする。

### 用語の定義

「職場体験」とは、生徒が事業所等の職場で働くことを通して職業や仕事の実際について体験したり、働く人々と接したりする学習活動を意味し、見学や依頼だけの職場訪問とは区別する。また、事前指導（事前学習・事前準備）→職場体験→事後指導といった一続きの学習活動を、本調査では「一連の学習活動」と呼称する。

### 調査の対象

新潟県内にある全ての中学校、中等教育学校（前期課程）及び特別支援学校（中学部）に勤務する、「職場体験」を実施した学年の教員又は「総合的な学習の時間」担当教員、計 269 人。

### 調査の方法・期間

自記式質問紙法（校長先生を通しての配布、回答者の郵送による返信）。

2012（平成 24）年 2 月 2 日～3 月 9 日（返信締切後の到着分も集計に含めた）。

### 調査の内容

大問レベルの質問内容は以下の四つであり、順序尺度には 4 件法を採用した。

- I. 2011（平成 23）年度中に実施した職場体験の実践内容
- II. 実践上の留意点及び成果と課題
- III. 「総合的な学習の時間」に対する意識
- IV. 職場体験に対する意識

### 倫理的配慮

依頼状と質問紙のフェイスシートには、調査は無記名で行うため個人や学校が特定されることはないこと、回答は可能な範囲でよいこと、データは統計的に処理されること、調査結果は研究目的以外には使用しないことを明記した。差出人欄のない返信用封筒による質問紙の返送をもって、本調査への同意を得たものとみなした。

### 返信数（返信率）、有効回答数（有効回答率）

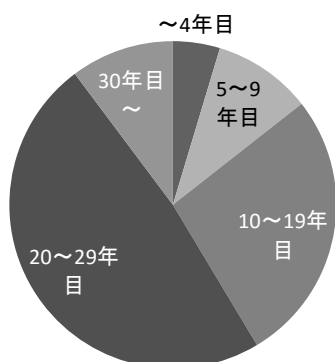
返信数 …… 217 件（80.7%）

有効回答数 …… 215 件（79.9%（N=269）、99.1%（N=217））

## 【0】回答者の属性

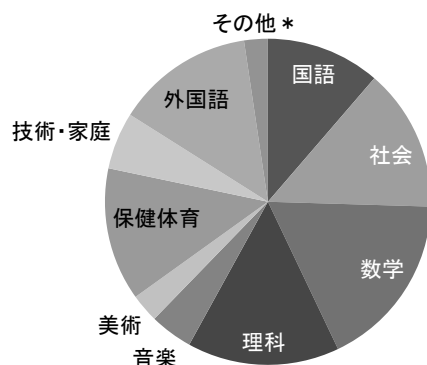
○担任・副担任をしている中堅層の先生方を中心に、ご回答いただきました。  
 ○学校がある地域は、住居地域と農業・漁業地域とが、ほぼ同じ割合でした。  
 ○落ち着いて学習活動に取り組む生徒と、リーダー的な先生が存在する、協働的な職場環境をもつ学校が多く見られました。

### 0－1 教職経験年数



度数		
～4年目	10	4.7%
5～9年目	21	9.8%
10～19年目	58	27.0%
20～29年目	104	48.4%
30年目～	22	10.2%
合計	215	100.0%

### 0－2 担当教科

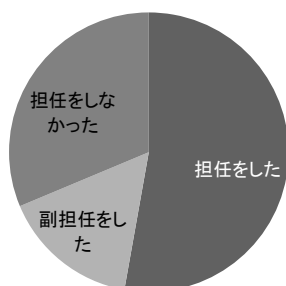


度数		
国語	24	11.3%
社会	30	14.2%
数学	37	17.5%
理科	32	15.1%
音楽	9	4.2%
美術	6	2.8%
保健体育	28	13.2%
技術・家庭	12	5.7%
外国語	29	13.7%
その他*	5	2.4%
合計	212	100.0%

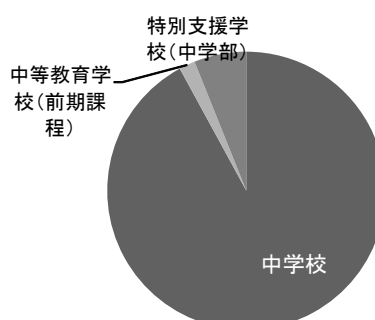
複数回答 (1)、無回答 (2) を除く

\*作業学習 (1)、職業学習 (1)、特別支援 (1)、特別支援、学校のカリキュラム全部 (1)、特別支援学校の教師 (1)

### 0－3 学級担任



### 0－4 学校種

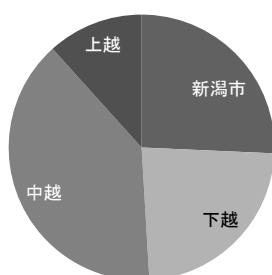


		学級担任			
		担任をした	副担任をした	担任をしなかった	合計
学校種	中学校	105 53.3%	27 13.7%	65 33.0%	197 100.0%
	中等教育学校（前期課程）	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	特別支援学校（中学部）	4 30.8%	7 53.8%	2 15.4%	13 100.0%
	合計	113 52.8%	34 15.9%	67 31.3%	214 100.0%

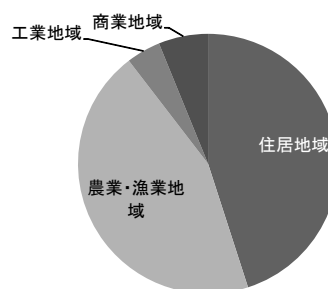
上段：度数、下段：回答比率

無回答（1）を除く

## 0-5 行政区



## 0-6 地域の特徴



		行政区				
		新潟市	下越	中越	上越	合計
学校種	中学校	50 25.4%	47 23.9%	78 39.6%	22 11.2%	197 100.0%
	中等教育学校（前期課程）	1 25.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	4 100.0%
	特別支援学校（中学部）	4 30.8%	2 15.4%	4 30.8%	3 23.1%	13 100.0%
	合計	55 25.7%	50 23.4%	84 39.3%	25 11.7%	214 100.0%

上段：度数、下段：回答比率

選択肢外回答（1）を除く

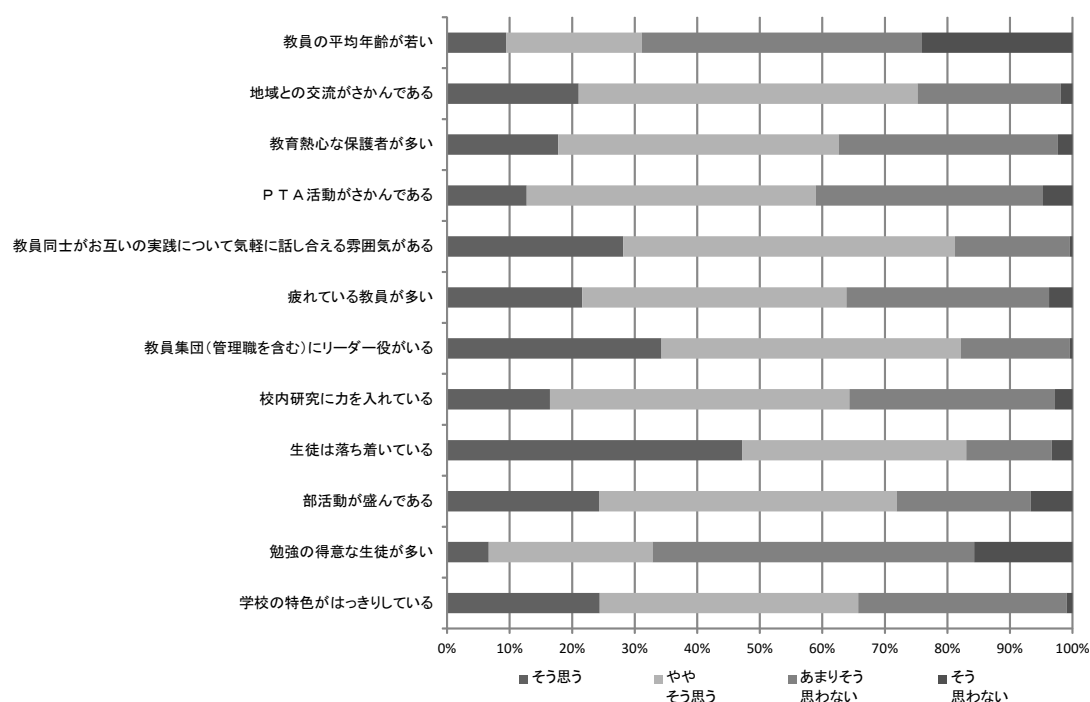
		地域の特徴				
		農業・漁業		工業地域	商業地域	合計
		住居地域	地域			
学校種	中学校	82 42.1%	91 46.7%	9 4.6%	13 6.7%	195 100.0%
	中等教育学校（前期課程）	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	特別支援学校（中学部）	10 83.3%	2 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	12 100.0%
	合計	95 45.0%	94 44.5%	9 4.3%	13 6.2%	211 100.0%

上段：度数、下段：回答比率

無回答（3）、複数回答（1）を除く

# 中学校「職場体験」に関するアンケート調査

## 0-7 勤務校の特徴



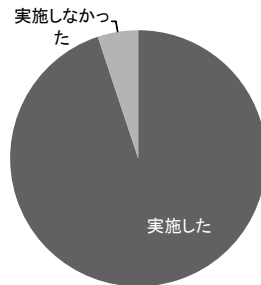
	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	合計
教員の平均年齢が若い	20 9.4%	46 21.7%	95 44.8%	51 24.1%	212 100.0%
地域との交流がさかんである	45 21.0%	116 54.2%	49 22.9%	4 1.9%	214 100.0%
教育熱心な保護者が多い	38 17.8%	96 44.9%	75 35.0%	5 2.3%	214 100.0%
P T A活動がさかんである	27 12.7%	98 46.2%	77 36.3%	10 4.7%	212 100.0%
教員同士がお互いの実践について気 軽に話し合える雰囲気がある	60 28.2%	113 53.1%	39 18.3%	1 0.5%	213 100.0%
疲れている教員が多い	46 21.6%	90 42.3%	69 32.4%	8 3.8%	213 100.0%
教員集団(管理職を含む)にリーダ ー役がいる	73 34.3%	102 47.9%	37 17.4%	1 0.5%	213 100.0%
校内研究に力を入れている	35 16.4%	102 47.9%	70 32.9%	6 2.8%	213 100.0%
生徒は落ち着いている	100 47.2%	76 35.8%	29 13.7%	7 3.3%	212 100.0%
部活動が盛んである	51 24.3%	100 47.6%	45 21.4%	14 6.7%	210 100.0%
勉強の得意な生徒が多い	14 6.7%	55 26.2%	108 51.4%	33 15.7%	210 100.0%
学校の特色がはっきりしている	52 24.4%	88 41.3%	71 33.3%	2 0.9%	213 100.0%
合計	561 22.0%	1,082 42.4%	764 30.0%	142 5.6%	2,549 100.0%

上段：度数、下段：回答比率  
無回答（31）を除く

## 【Ⅰ】「職場体験」に関する“一連の学習活動”の概要

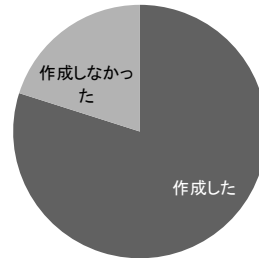
- 約 95 %の学校において、“一連の学習活動”を実施していました。そのうちの約 8割は、「総合的な学習の時間」での実施でした。
- 「事前指導」では、主に講話、職業調べ、探究課題の設定が行われていました。
- 主に夏季の2～3日間実施している「職場体験」は、実施学年（主に2年生）が中心となって、販売・接客や介護・保育を中心とする事業所等に依頼していました。
- 「事後指導」では、主に礼状作成、記録等の作成、発表会が行われていました。
- 「評価」は、生徒のレポート等や自己評価を中心に行われていました。

## Ⅰ－１ “一連の学習活動”の実施



	度数	
実施した	204	95.3%
実施しなかった	11	5.1%
合計	214	100.0%

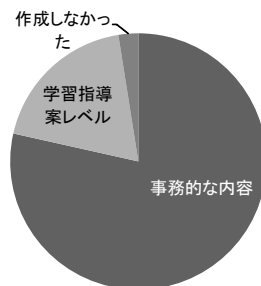
## Ⅰ－２ キャリア教育の全体計画



	度数	
作成した	163	79.9%
作成しなかった	41	20.1%
合計	204	100.0%

“一連の学習活動”を実施した学校のみ回答  
(以下、Ⅱ－３まで同様)

## Ⅰ－３ “一連の学習活動”指導計画



	度数	
いつ、誰が、何をするか といった事務的な内容の 計画を作成した	157	78.5%
学習指導案レベルの計画 を作成した	38	19.0%
特に作成しなかった	5	2.5%
合計	200	100.0%

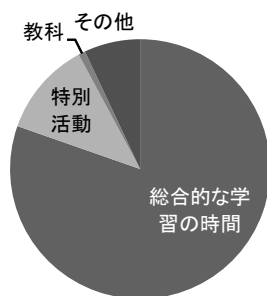
無回答(4)を除く

## Ⅰ－４ “一連の学習活動”の単元名

回答数 115 [内訳] 職場体験学習 (28)、職場体験 (10)、職場体験活動 (3)、キャリア  
スタートウィーク (2)、キャリア教育 (2)、進路学習 (2)、その他 (68)



# I - 5 “一連の学習活動” 教育課程での位置づけ



		総合的な 学習の時間	特別活動	教科	その他	合計
事前指導	事前学習	193 81.4%	33 13.9%	3 1.3%	8 3.4%	237 100.0%
	事前準備	188 76.7%	37 15.1%	2 0.8%	18 7.3%	245 100.0%
職場体験		164 78.5%	9 4.3%	1 0.5%	35 16.7%	209 100.0%
事後指導		194 82.6%	29 12.3%	2 0.9%	10 4.3%	235 100.0%

“一連の学習活動”を実施した枠を「1」として複数回答

上段：度数、下段：回答比率

# I - 6 “一連の学習活動” 実施時数（コマ数）

		平均値 (M)	標準偏差 (SD)	最小値	最大値
事前指導	事前学習	7.6	5.6	1	42
	事前準備	4.0	2.5	1	13
職場体験		15.2	9.0	1	67
事後指導		6.5	4.2	1	22

日数での回答を除く

# I - 7 “事前学習” の内容

	度数	
教員による「職場体験」の目的、意義等に関する講話	179	87.7%
派遣先の担当者への質問（事業所や業務に関する事項）を考える	174	85.3%
自分自身の職業適性や個性を把握する活動	135	66.2%
派遣先に関する調べ学習	127	62.3%
派遣先の指導者への質問（志望理由ややりがい等に関する事項）を考える	119	58.3%
個人で探究する課題（テーマ）の設定	114	55.9%
教員による職業全般の知識に関する講話	112	54.9%
外部講師による職業観・勤労観に関する講話	109	53.4%
自分自身の進路や職業等を計画したり、生き方を考えたりする活動	98	48.0%
職業に関するホームページの閲覧・分析	95	46.6%
教員による職業観・勤労観に関する講話	91	44.6%
派遣先の事前訪問	72	35.3%
社交性を高めるエクササイズ	64	31.4%
学年全体やグループで探究する課題（テーマ）の設定	54	26.5%
職場見学（派遣先とは限らない）	51	25.0%
職業に関する新聞・雑誌記事の収集・分析	29	14.2%

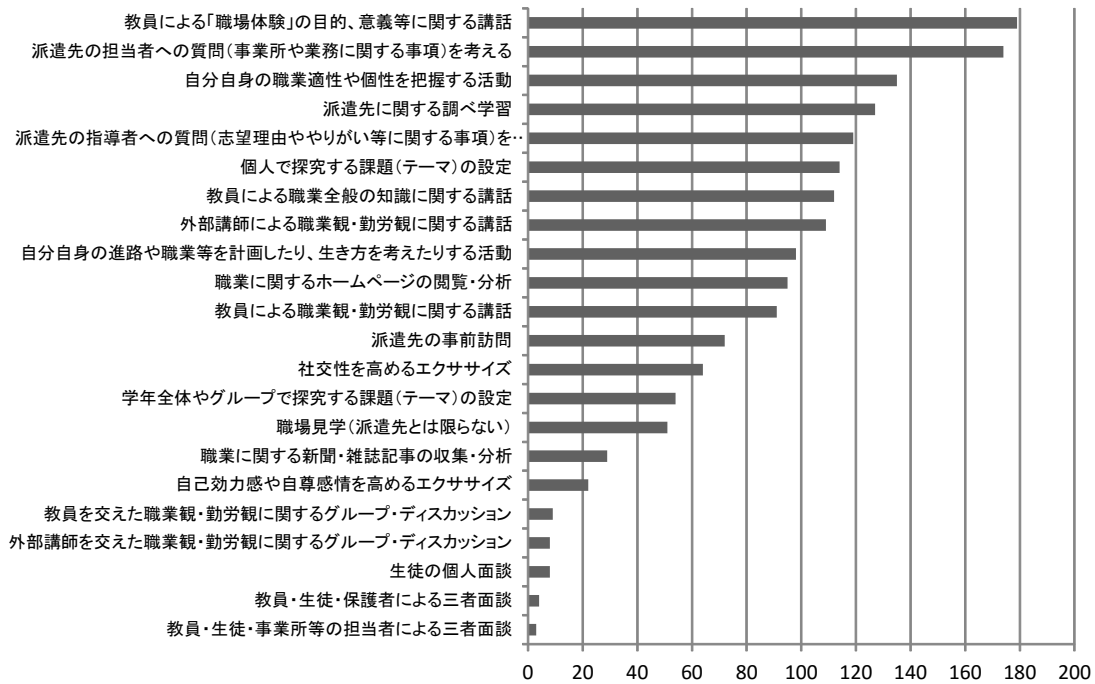
次ページに続く→

	度数	
自己効力感や自尊感情を高めるエクササイズ	22	10.8%
教員を交えた職業観・勤労観に関するグループ・ディスカッション	9	4.4%
外部講師を交えた職業観・勤労観に関するグループ・ディスカッション	8	3.9%
生徒の個人面談	8	3.9%
教員・生徒・保護者による三者面談	4	2.0%
教員・生徒・事業所等の担当者による三者面談	3	1.5%
その他*	16	7.8%

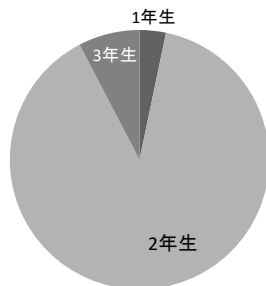
複数回答

%ベースを 204（無回答数を含む）で計算

\* 外部講師によるマナー指導（5）、職業に関するレポートの作成（4）、職業に関する DVD の視聴（2）、適性検査（1）、インターネットの活用方法（1）、無記入（3）



## I - 8 「職場体験」実施学年



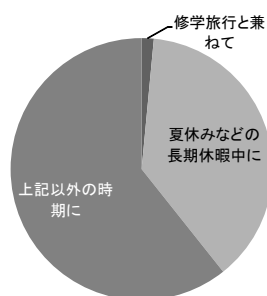
	度数	
1年生	6	3.3%
2年生	163	89.1%
3年生	14	7.7%
合計	183	100.0%

複数回答（18）、無回答（2）、選択肢外回答（1）を除く

# 中学校「職場体験」に関するアンケート調査

## I－9 「職場体験」実施時期・実施月

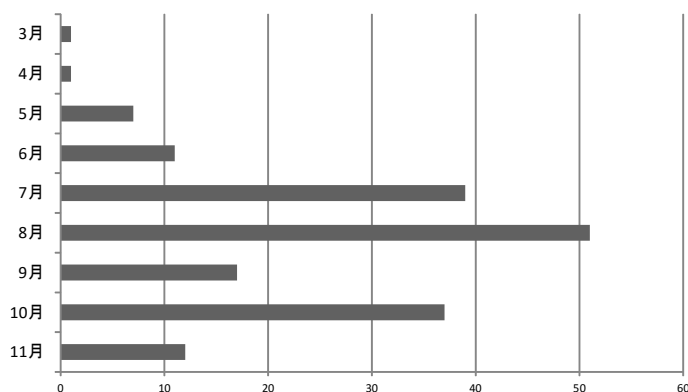
### I－9－1 実施時期



	度数	
修学旅行と兼ねて	3	1.5%
夏休みなどの長期休暇中に	76	37.8%
上記以外の時期に	122	60.7%
合計	201	100.0%

無回答（2）、選択肢外回答（1）を除く

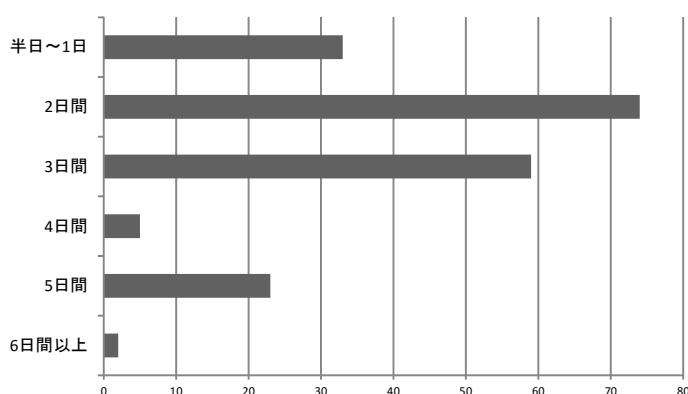
### I－9－2 実施月



	度数	
3月	1	0.6%
4月	1	0.6%
5月	7	4.0%
6月	11	6.3%
7月	39	22.2%
8月	51	29.0%
9月	17	9.7%
10月	37	21.0%
11月	12	6.8%
合計	176	100.0%

%ベースを 176（無回答数を除く）で計算

## I－10 「職場体験」実施日数



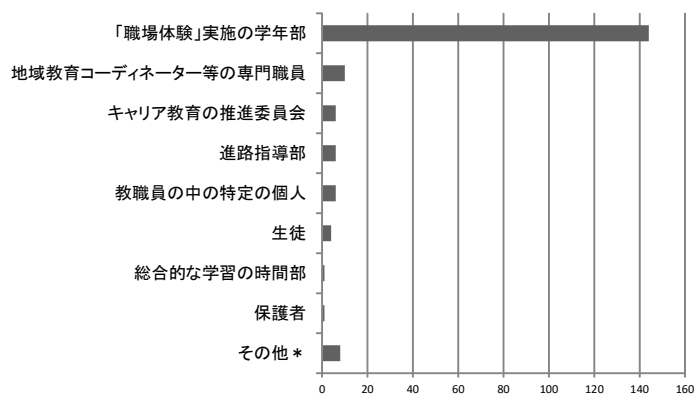
	度数	
半日～1日	33	16.8%
2日間	74	37.8%
3日間	59	30.1%
4日間	5	2.6%
5日間	23	11.7%
6日間以上	2	1.0%
合計	196	100.0%

%ベースを 196（無回答数を除く）で計算

## I－11 「職場体験」生徒の人数

	平均値 (M)	標準偏差 (SD)	最小値	最大値
生徒の人数	90.0	69.9	1	445

## I-12 「職場体験」事業所等との交渉担当者



	度数	
「職場体験」実施の学年部	144	77.8%
地域教育コーディネーター等の専門職員	10	5.4%
キャリア教育の推進委員会	6	3.2%
進路指導部	6	3.2%
教職員の中の特定の個人	6	3.2%
生徒	4	2.2%
総合的な学習の時間部	1	0.5%
保護者	1	0.5%
その他*	8	4.3%
合計	185	100.0%

複数回答 (9)、無回答 (10) を除く

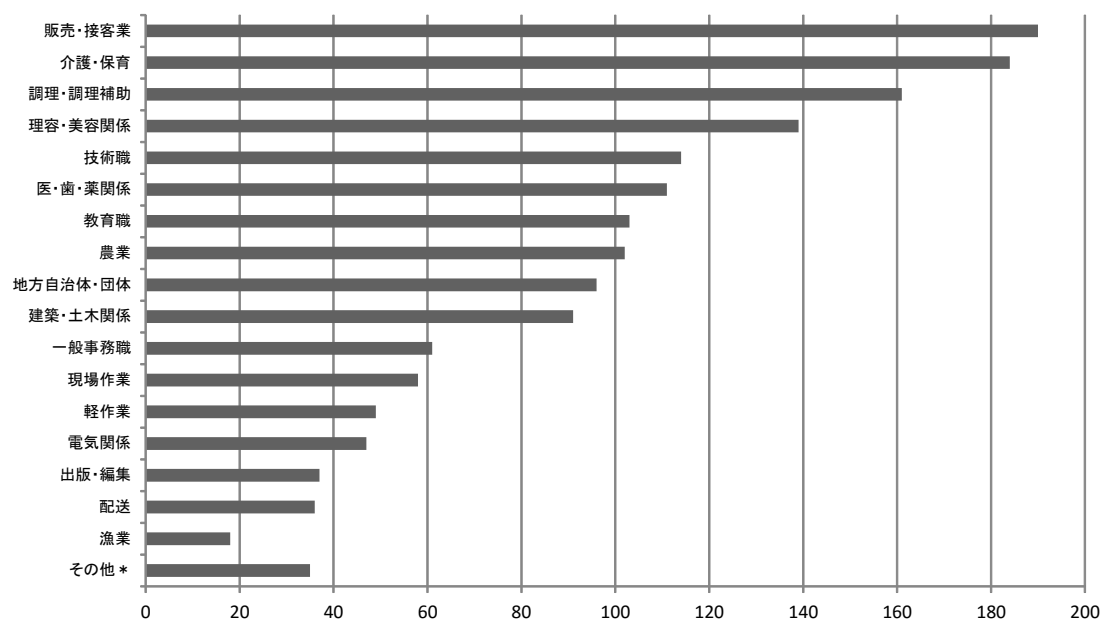
\* ハローワーク (1)、学部のキャリア担当=学部主事 (1)、教育委員会 (1)、市の取組 (1)、社会福祉協議会 (1)、職員が電話等で受け入れの確認をしたあと、生徒から連絡をさせて、持ちもの等を確認させた (1)、進路指導主事 (1)、総合部主導のもと全職員で分担して行った (1)、無記入 (2)

## I-13 「職場体験」事業所等の数 (全体)

## I-14 「職場体験」事業所等の数 (生徒1人あたり)

	平均値 (M)	標準偏差 (SD)	最小値	最大値
事業所等の数 (全体)	33.4	25.7	1	230
事業所等の数 (生徒1人あたり)	1.3	0.5	1	3

## I-15 「職場体験」事業所等の職種



## 中学校「職場体験」に関するアンケート調査

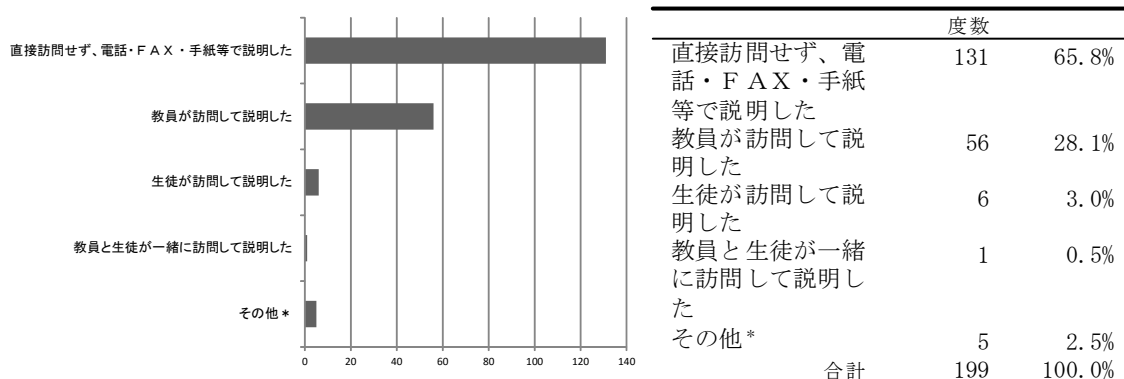
	度数	
販売・接客業	190	93.1%
介護・保育	184	90.2%
調理・調理補助	161	78.9%
理容・美容関係	139	68.1%
技術職	114	55.9%
医・歯・薬関係	111	54.4%
教育職	103	50.5%
農業	102	50.0%
地方自治体・団体	96	47.1%
建築・土木関係	91	44.6%
一般事務職	61	29.9%
現場作業	58	28.4%
軽作業	49	24.0%
電気関係	47	23.0%
出版・編集	37	18.1%
配送	36	17.6%
漁業	18	8.8%
その他*	35	17.2%

複数回答

%ベースを 204（無回答数を含む）で計算

\* 寺社（3）、研究職（1）、職種不詳（23）、無記入（8）

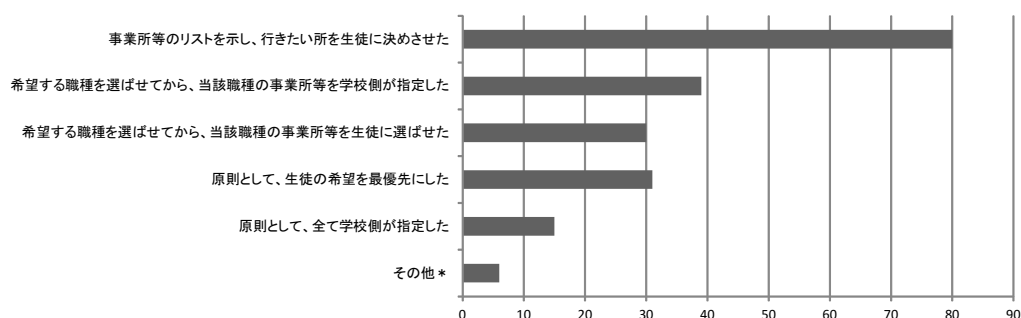
### I－１６ 「職場体験」事業所等への事前説明



複数回答（3）、無回答（2）を除く

\* 地域教育コーディネーターが訪問（2）、旅行業者による依頼（1）、市で全体説明を行った（1）、電話依頼と訪問依頼が混在（1）

### I－１７ 「職場体験」事業所等と生徒とのマッチング

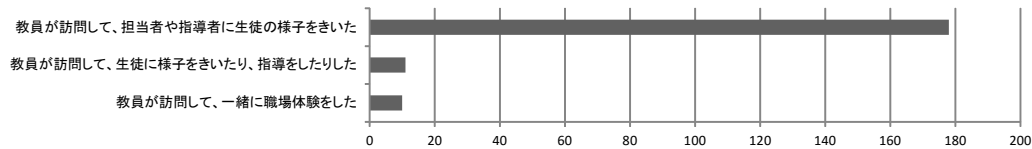


	度数	
事業所等のリストを示し、行きたい所を生徒に決めさせた	80	39.8%
希望する職種を選ばせてから、当該職種の事業所等を学校側が指定した	39	19.4%
原則として、生徒の希望を最優先にした	31	15.4%
希望する職種を選ばせてから、当該職種の事業所等を生徒に選ばせた	30	14.9%
原則として、全て学校側が指定した	15	7.5%
その他*	6	3.0%
合計	201	100.0%

複数回答（1）、無回答（2）を除く

\* 保護者の希望（5）、不詳（1）

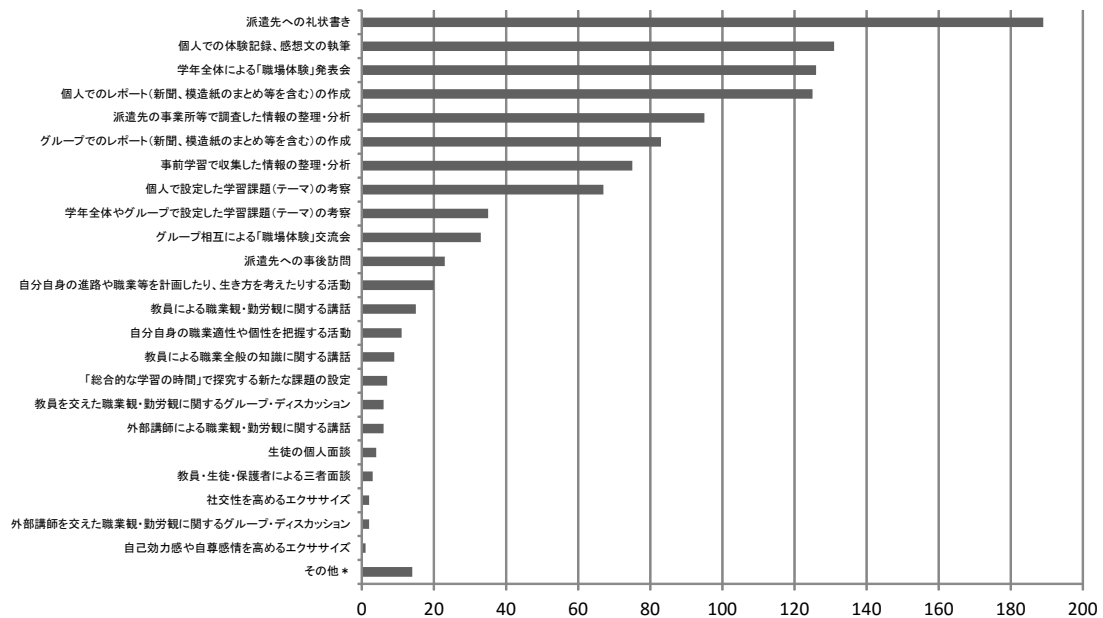
## I - 18 「職場体験」実施中の指導



	度数	
教員が訪問して、担当者や指導者に生徒の様子をきいた	178	89.0%
教員が訪問して、生徒に様子をきいたり、指導をしたりした	11	5.5%
教員が訪問して、一緒に職場体験をした	10	5.0%
合計	200	100.0%

複数回答（3）、無回答（1）、選択肢外回答（1）を除く

## I - 19 “事後指導” 内容



# 中学校「職場体験」に関するアンケート調査

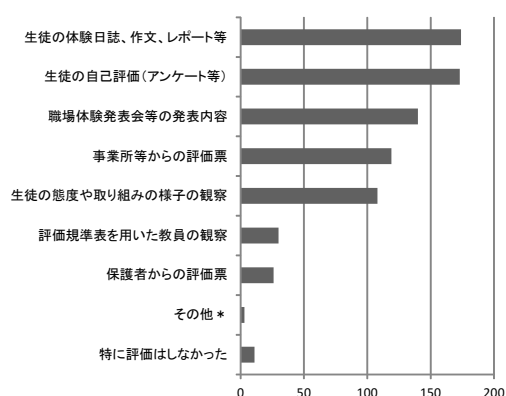
	度数	
派遣先への礼状書き	189	92.6%
個人での体験記録、感想文の執筆	131	64.2%
学年全体による「職場体験」発表会	126	61.8%
個人でのレポート（新聞、模造紙のまとめ等を含む）の作成	125	61.3%
派遣先の事業所等で調査した情報の整理・分析	95	46.6%
グループでのレポート（新聞、模造紙のまとめ等を含む）の作成	83	40.7%
事前学習で収集した情報の整理・分析	75	36.8%
個人で設定した学習課題（テーマ）の考察	67	32.8%
学年全体やグループで設定した学習課題（テーマ）の考察	35	17.2%
グループ相互による「職場体験」交流会	33	16.2%
派遣先への事後訪問	23	11.3%
自分自身の進路や職業等を計画したり、生き方を考えたりする活動	20	9.8%
教員による職業観・勤労観に関する講話	15	7.4%
自分自身の職業適性や個性を把握する活動	11	5.4%
教員による職業全般の知識に関する講話	9	4.4%
「総合的な学習の時間」で探究する新たな課題の設定	7	3.4%
教員を交えた職業観・勤労観に関するグループ・ディスカッション	6	2.9%
外部講師による職業観・勤労観に関する講話	6	2.9%
生徒の個人面談	4	2.0%
教員・生徒・保護者による三者面談	3	1.5%
外部講師を交えた職業観・勤労観に関するグループ・ディスカッション	2	1.0%
社交性を高めるエクササイズ	2	1.0%
自己効力感や自尊感情を高めるエクササイズ	1	0.5%
その他*	14	6.9%

複数回答

%ベースを 204（無回答数を含む）で計算

\*事業所や地域の小学生を招待しての発表会（全員が 1 人で）(1)、小中合同学習発表会を地域の方々を招いて行い、その場で学習報告を行った (1)、小 6 を学校にまねいて発表会を行った (1)、全校生徒・地域の方々へ発表（文化祭の一場面で）(1)、事業所を招いての発表会 (1)、学年代表が全校に対して「職場体験」発表会を行った (1)、1 年生にポスターを用いた報告会を行った (1)、全校総合発表会 (1)、訪問先からのアンケートを見て今後の自分の生活のあり方を見直す (1)、無記入 (5)

## I - 20 “一連の学習活動” 評価



	度数	
生徒の体験日誌、作文、レポート等	174	85.3%
生徒の自己評価（アンケート等）	173	84.8%
職場体験発表会等の発表内容	140	68.6%
事業所等からの評価票	119	58.3%
生徒の態度や取り組みの様子の観察	108	52.9%
評価規準表を用いた教員の観察	30	14.7%
保護者からの評価票	26	12.7%
その他*	3	1.5%
特に評価はしなかった	11	5.4%

複数回答

%ベースを 204（無回答数を含む）で計算

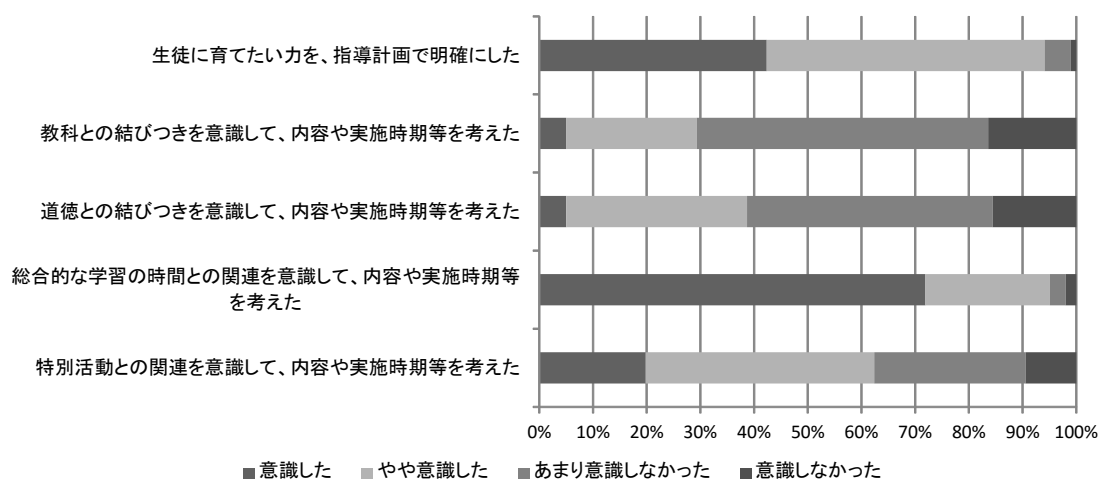
\*生徒の相互評価 (1)、ポートフォリオ評価 (1)、不詳 (1)

## 【Ⅱ】“一連の学習活動”実践上の留意点、成果・課題

- 多くの先生方が「総合的な学習の時間」との関連を意識し、「事前・事後指導」等が「問題の解決」や「探究の過程」に位置付くように留意していました。
- 多くの先生方が、事業所等への事前説明・協議を十分行っていると回答しました。
- 評価に関する資料等の準備が、意識的に行われていました。
- “一連の学習活動”を通して、多くの先生方が、主にあいさつ、協働、自己理解・自己分析に関して、生徒の成長を感じていました。
- 多くの先生方が、全体としての盛り上がりを感じている一方で、生徒が希望した職種・事業所に派遣できなかったり、生徒が希望した業務を体験させられなかったりしたことを、課題としてとらえていました。

## Ⅱ－１ “一連の学習活動”指導上の留意点

## Ⅱ－１－１ 全体



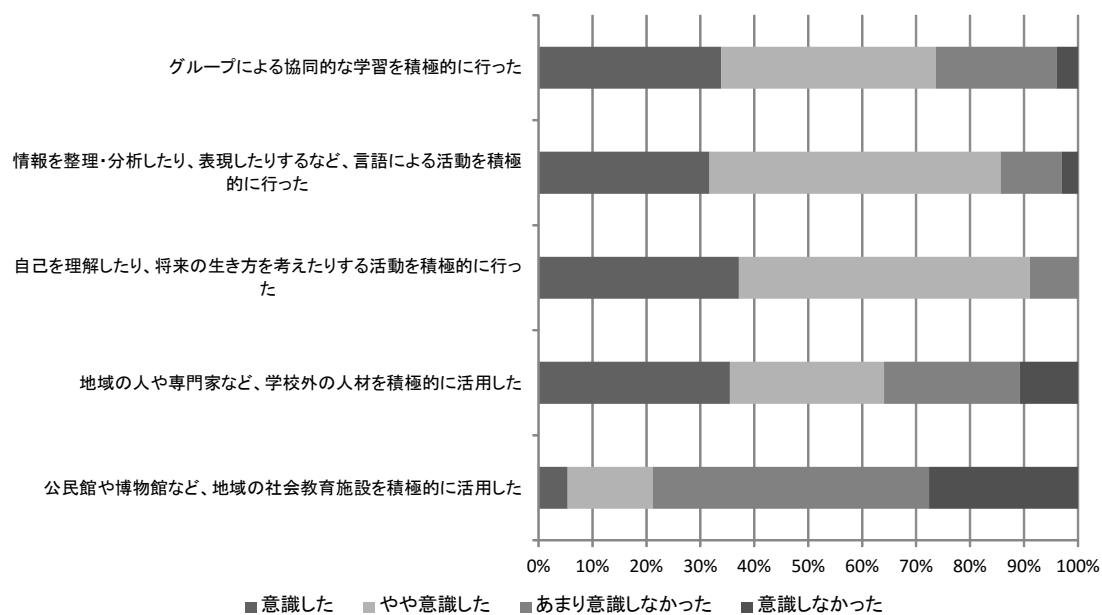
	意識した	やや意識した	あまり意識しなかった	意識しなかった	合計
生徒に育てたい力を、指導計画で明確にした	86 42.4%	105 51.7%	10 4.9%	2 1.0%	203
教科との結びつきを意識して、内容や実施時期等を考えた	10 5.0%	49 24.4%	109 54.2%	33 16.4%	201
道徳との結びつきを意識して、内容や実施時期等を考えた	10 5.0%	67 33.7%	91 45.7%	31 15.6%	199
総合的な学習の時間との関連を意識して、内容や実施時期等を考えた	146 71.9%	47 23.2%	6 3.0%	4 2.0%	203
特別活動との関連を意識して、内容や実施時期等を考えた	40 19.8%	86 42.6%	57 28.2%	19 9.4%	202

上段：度数、下段：回答比率  
無回答（12）を除く



## 中学校「職場体験」に関するアンケート調査

### Ⅱ－１－２ 事前・事後指導

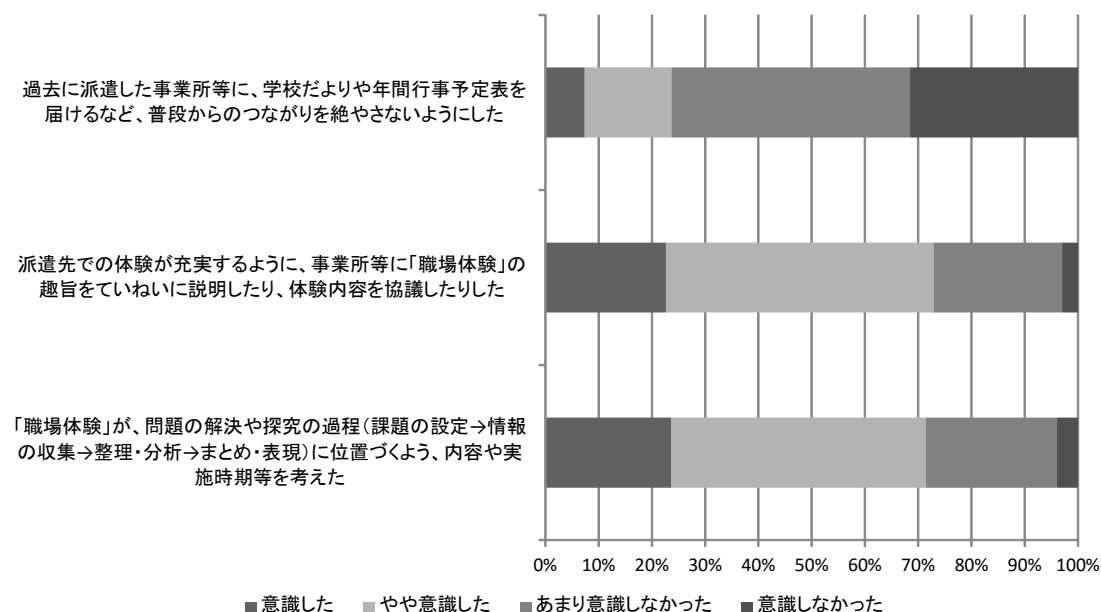


	意識した	やや意識した	あまり意識しなかった	意識しなかった	合計
グループによる協同的な学習を積極的に行った	68 33.8%	80 39.8%	45 22.4%	8 4.0%	201 100.0%
情報を整理・分析したり、表現したりするなど、言語による活動を積極的に行った	64 31.7%	109 54.0%	23 11.4%	6 3.0%	202 100.0%
自己を理解したり、将来の生き方を考えたりする活動を積極的に行った	75 37.1%	109 54.0%	18 8.9%	0 0.0%	202 100.0%
地域の人や専門家など、学校外の人材を積極的に活用した	72 35.5%	58 28.6%	51 25.1%	22 10.8%	203 100.0%
公民館や博物館など、地域の社会教育施設を積極的に活用した	11 5.4%	32 15.8%	104 51.2%	56 27.6%	203 100.0%

上段：度数、下段：回答比率

無回答（9）を除く

## Ⅱ－１－３ 職場体験

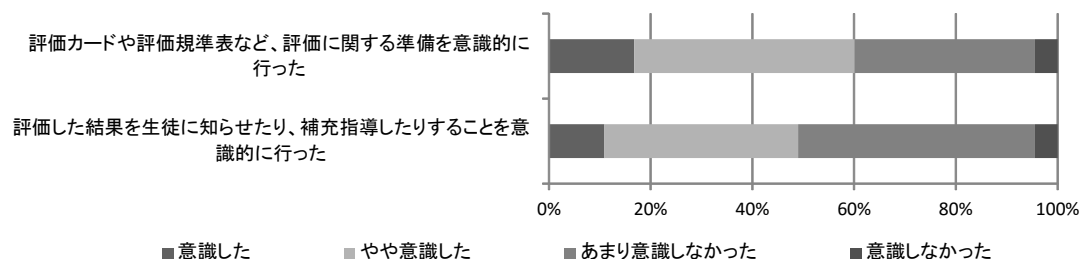


	意識した	やや意識した	あまり意識しなかった	意識しなかった	合計
過去に派遣した事業所等に、学校だよりや年間行事予定表を届けるなど、普段からのつながりを絶やさないようにした	15 7.4%	33 16.3%	91 44.8%	64 31.5%	203 100.0%
派遣先での体験が充実するように、事業所等に「職場体験」の趣旨をていねいに説明したり、体験内容を協議したりした	46 22.7%	102 50.2%	49 24.1%	6 3.0%	203 100.0%
「職場体験」が、問題の解決や探究の過程（課題の設定→情報の収集→整理・分析→まとめ・表現）に位置づくよう、内容や実施時期等を考えた	48 23.6%	97 47.8%	50 24.6%	8 3.9%	203 100.0%

上段：度数、下段：回答比率

無回答（3）を除く

## Ⅱ－１－４ 評価

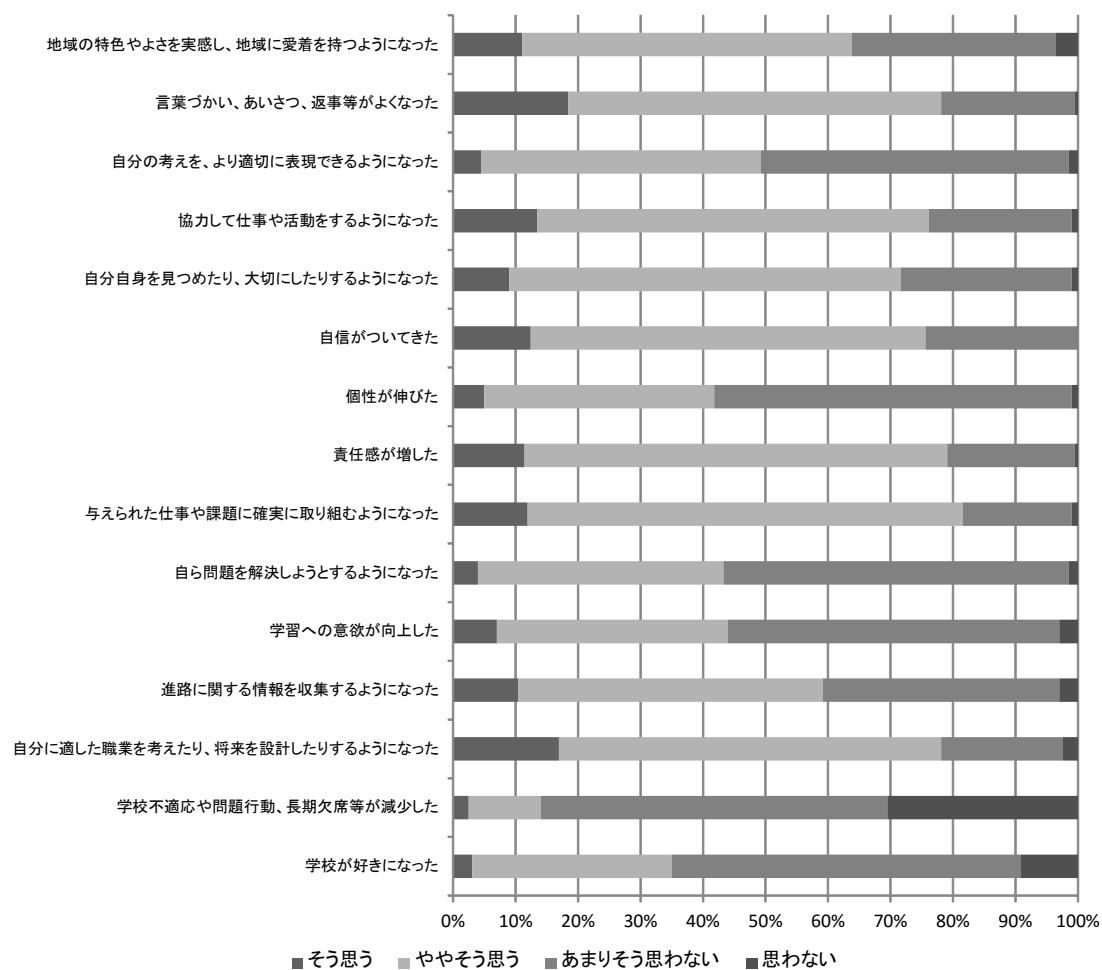


	意識した	やや意識した	あまり意識しなかった	意識しなかった	合計
評価カードや評価規準表など、評価に関する準備を意識的に行った	34 16.7%	88 43.3%	72 35.5%	9 4.4%	203 100.0%
評価した結果を生徒に知らせたり、補充指導したりすることを意識的に行った	22 10.9%	77 38.1%	94 46.5%	9 4.5%	202 100.0%

上段：度数、下段：回答比率

無回答（3）を除く

## Ⅱ－２ “一連の学習活動” 生徒の成長



	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	合計
地域の特色やよさを実感し、地域に愛着を持つようになった	22 11.1%	105 52.8%	65 32.7%	7 3.5%	199 100.0%
言葉づかい、あいさつ、返事等がよかった	37 18.4%	120 59.7%	43 21.4%	1 0.5%	201 100.0%
自分の考えを、より適切に表現できるようになった	9 4.5%	90 44.8%	99 49.3%	3 1.5%	201 100.0%
協力して仕事や活動をするようになった	27 13.4%	126 62.7%	46 22.9%	2 1.0%	201 100.0%
自分自身を見つめたり、大切にしたりするようになった	18 9.0%	126 62.7%	55 27.4%	2 1.0%	201 100.0%
自信がついてきた	25 12.4%	127 63.2%	49 24.4%	0 0.0%	201 100.0%
個性が伸びた	10 5.0%	74 36.8%	115 57.2%	2 1.0%	201 100.0%
責任感が増した	23 11.4%	136 67.7%	41 20.4%	1 0.5%	201 100.0%
与えられた仕事や課題に確実に取り組むようになった	24 11.9%	140 69.7%	35 17.4%	2 1.0%	201 100.0%
自ら問題を解決しようとするようになった	8 4.0%	79 39.3%	111 55.2%	3 1.5%	201 100.0%
学習への意欲が向上した	14 7.0%	74 37.0%	106 53.0%	6 3.0%	200 100.0%
進路に関する情報を収集するようになった	21 10.4%	98 48.8%	76 37.8%	6 3.0%	201 100.0%
自分に適した職業を考えたり、将来を設計したりするようになった	34 16.9%	123 61.2%	39 19.4%	5 2.5%	201 100.0%
学校不適応や問題行動、長期欠席等が減少した	5 2.5%	23 11.5%	111 55.5%	61 30.5%	200 100.0%
学校が好きになった	6 3.0%	63 32.0%	110 55.8%	18 9.1%	197 100.0%
合計	283 9.4%	1,504 50.0%	1,101 36.6%	119 4.0%	3,007 100.0%

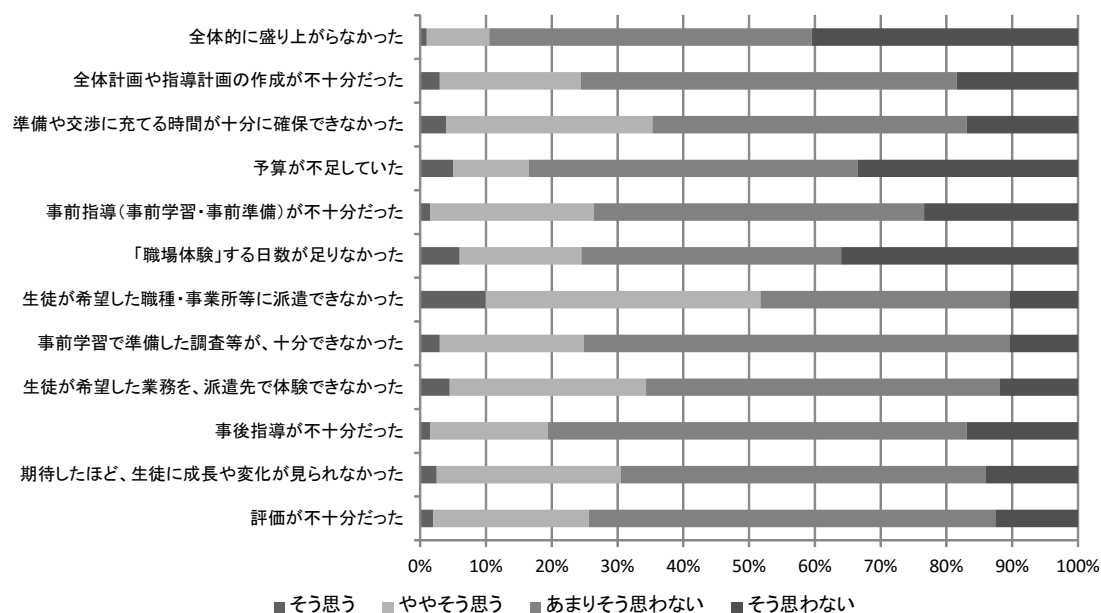
上段：度数、下段：回答比率  
無回答（53）を除く

### 【自由記述】

- ・グループでの体験学習の際、協調性や責務を果たす努力しており、自身の生活（学校、家庭）でも活かすようになった。
- ・「学校を卒業したその先から、本当の人生がスタートする」という事を実感した生徒が多数いた。（生徒のレポートより）
- ・特別支援学校の特性上、行って体験してみること自体が目的そのものである。2日間、安定した状態で行ってこれたことが成果であると思う。
- ・上記アンケート内容は、（自分としては）中学3年間で、つけてもらいたい力なので今回の職場体験だけで、どうだったと言われても、答えられないことが多い。先生の数が少ないので、1人1人の先生方の負担が大きい。他の仕事をけずって、この活動が入るのなら、わかるが、いつも、+（プラス）されるだけである。生徒は、とても充実していた様子だ。

# 中学校「職場体験」に関するアンケート調査

## Ⅱ－３ “一連の学習活動” 実践上の課題



	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	合計
全体的に盛り上がらなかった	2 1.0%	19 9.5%	98 49.0%	81 40.5%	200 100.0%
全体計画や指導計画の作成が不十分だった	6 3.0%	43 21.4%	115 57.2%	37 18.4%	201 100.0%
準備や交渉に充てる時間が十分に確保できなかった	8 4.0%	63 31.3%	96 47.8%	34 16.9%	201 100.0%
予算が不足していた	10 5.0%	23 11.5%	100 50.0%	67 33.5%	200 100.0%
事前指導(事前学習・事前準備)が不十分だった	3 1.5%	50 24.9%	101 50.2%	47 23.4%	201 100.0%
「職場体験」する日数が足りなかった	12 6.0%	37 18.5%	79 39.5%	72 36.0%	200 100.0%
生徒が希望した職種・事業所等に派遣できなかった	20 10.0%	84 41.8%	76 37.8%	21 10.4%	201 100.0%
事前学習で準備した調査等が、十分できなかった	6 3.0%	44 21.9%	130 64.7%	21 10.4%	201 100.0%
生徒が希望した業務を、派遣先で体験できなかった	9 4.5%	60 29.9%	108 53.7%	24 11.9%	201 100.0%
事後指導が不十分だった	3 1.5%	36 17.9%	128 63.7%	34 16.9%	201 100.0%
期待したほど、生徒に成長や変化が見られなかった	5 2.5%	56 28.0%	111 55.5%	28 14.0%	200 100.0%
評価が不十分だった	4 2.0%	47 23.6%	123 61.8%	25 12.6%	199 100.0%
合計	88 3.7%	562 23.4%	1,265 52.6%	491 20.4%	2,406 100.0%

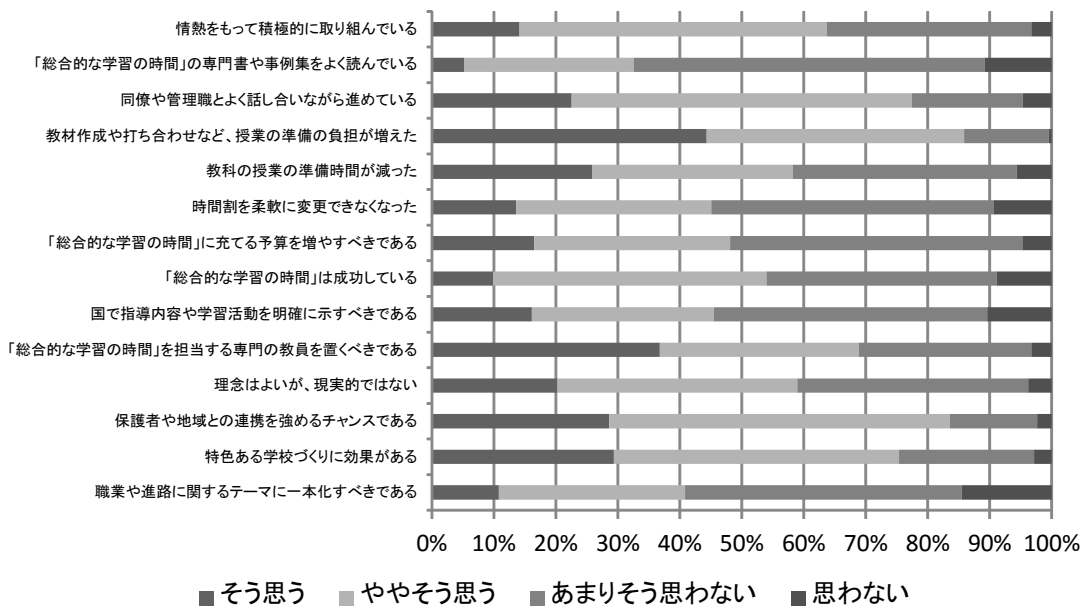
上段：度数、下段：回答比率  
無回答（42）を除く

**【自由記述】**

- ・1 日だったために、当日、営業日でなかったり、時期的に活動内容が合わなかったためにキャンセルされた事業所が少しあった。
- ・ロボットに関する仕事や、ゲームプログラマーなど、希望が多数であるにも関わる体験させてくれる職場を見つける事ができなかった。
- ・佐渡は職種が少なく、多様な体験は不可能…（仕方ないけど）

### 【Ⅲ】「総合的な学習の時間」全般についての意識

- 多くの先生方が、「総合的な学習の時間」の意義や成果について、全般的に肯定的な意識を持っており、同じ学校の先生方と協働して取り組んでいました。
- その一方で多くの先生方が、準備の負担が増えていることを感じており、専門教員の配置を望んだり、教育課程に位置付けることへの限界を感じたりしていました。



	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	合計
情熱をもって積極的に取り組んでいる	30 14.2%	105 49.5%	70 33.0%	7 3.3%	212 100.0%
「総合的な学習の時間」の専門書や事例集をよく読んでいる	11 5.2%	58 27.4%	120 56.6%	23 10.8%	212 100.0%
同僚や管理職とよく話し合いながら進めている	48 22.5%	117 54.9%	38 17.8%	10 4.7%	213 100.0%
教材作成や打ち合わせなど、授業の準備の負担が増えた	94 44.3%	88 41.5%	29 13.7%	1 0.5%	212 100.0%
教科の授業の準備時間が減った	55 25.8%	69 32.4%	77 36.2%	12 5.6%	213 100.0%
時間割を柔軟に変更できなくなった	29 13.6%	67 31.5%	97 45.5%	20 9.4%	213 100.0%
「総合的な学習の時間」に充てる予算を増やすべきである	35 16.5%	67 31.6%	100 47.2%	10 4.7%	212 100.0%
「総合的な学習の時間」は成功している	21 9.9%	94 44.1%	79 37.1%	19 8.9%	213 100.0%
国で指導内容や学習活動を明確に示すべきである	34 16.1%	62 29.4%	93 44.1%	22 10.4%	211 100.0%

次のページに続く→

	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	合計
「総合的な学習の時間」を担当する専門の教員 を置くべきである	78 36.8%	68 32.1%	59 27.8%	7 3.3%	212 100.0%
理念はよいが、現実的ではない	43 20.3%	82 38.7%	79 37.3%	8 3.8%	212 100.0%
保護者や地域との連携を強めるチャンスである	61 28.6%	117 54.9%	30 14.1%	5 2.3%	213 100.0%
特色ある学校づくりに効果がある	62 29.4%	97 46.0%	46 21.8%	6 2.8%	211 100.0%
職業や進路に関するテーマに一本化すべきであ る	23 10.8%	64 30.0%	95 44.6%	31 14.6%	213 100.0%
合計	583 19.6%	992 33.4%	822 27.7%	151 5.1%	2,972 100.0%

上段：度数、下段：回答比率  
無回答（38）を除く

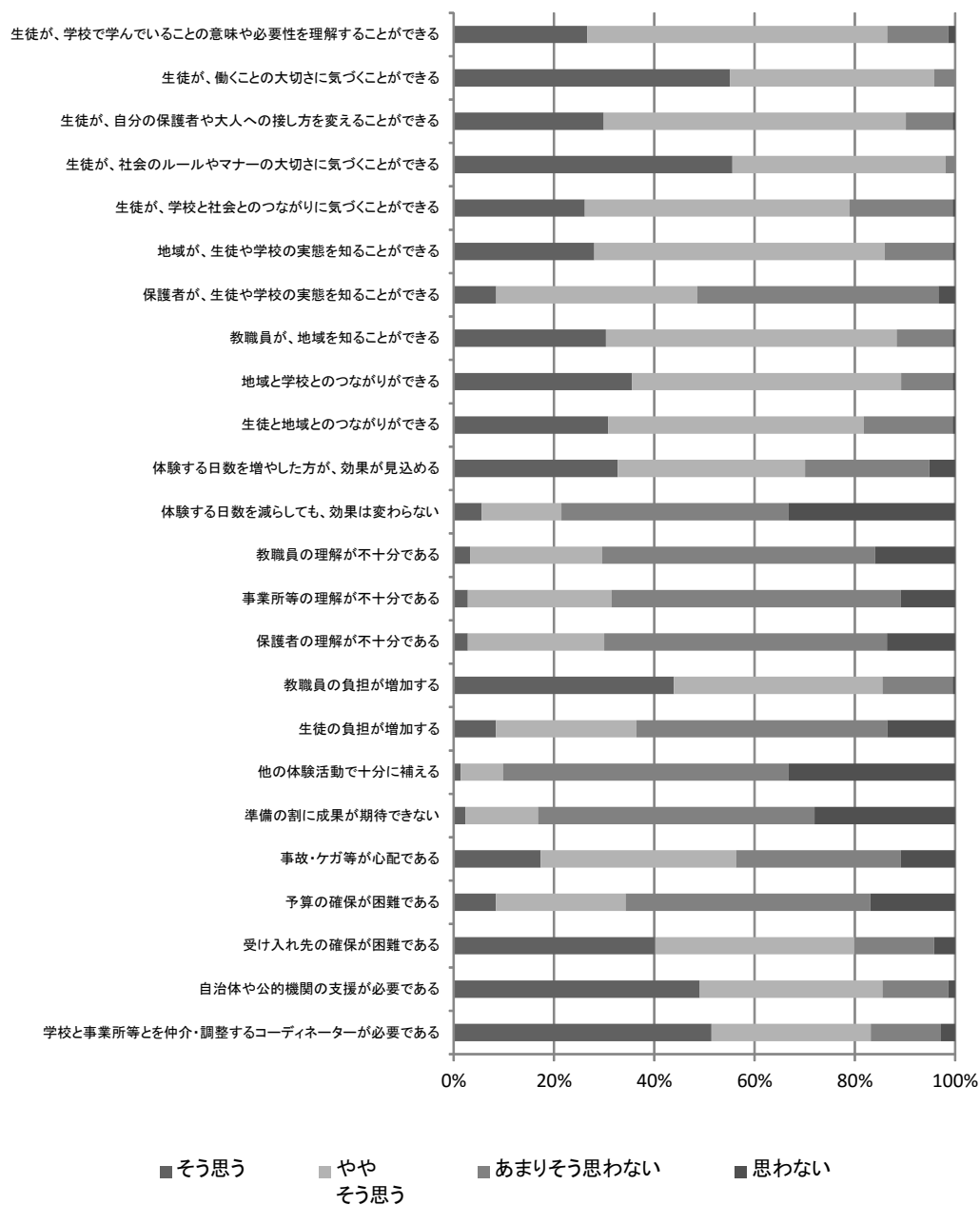
### 【自由記述】

- ・ 職員の授業力にかかっている。学校独自の取組ができるチャンスである。
- ・ 小学校と連携する事で、中学校で充実したキャリア教育を展開する事ができた。（重なる部分をはぶく事ができた。）アンケートの結果から、体験の日数が長いことが充実した活動になるとは限らない事が分かった。大切なのは本人の興味と体験内容がリンクする事である。
- ・ 総合学習はやめるべきである。現場の教師が計画を立てるのに無理があるため、教育の効果はのぞめない。
- ・ 担当すると負担が多い。将来に関わる進路や職場体験は必要と感じるが、学校任せ、担当任せなのは厳しい。



#### 【Ⅳ】「職場体験」全般についての意識

- 多くの先生方が、「職場体験」の意義について、かなりの程度において肯定的な意識をお持ちでした。
- 多くの先生方が、体験日数を増やした方がより効果が望めると感じていました。
- その一方で多くの先生方が、派遣先の事業所等の確保に困難を感じており、負担を感じたり、公的支援の必要性を感じたりしていました。



	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	合計
生徒が、学校で学んでいることの意味や 必要性を理解することができる	57 26.6%	128 59.8%	26 12.1%	3 1.4%	214 100.0%
生徒が、働くことの大切さに気づくこと ができる	118 55.1%	87 40.7%	9 4.2%	0 0.0%	214 100.0%
生徒が、自分の保護者や大人への接し方 を変えることができる	64 29.9%	129 60.3%	20 9.3%	1 0.5%	214 100.0%
生徒が、社会のルールやマナーの大切さ に気づくことができる	119 55.6%	91 42.5%	4 1.9%	0 0.0%	214 100.0%
生徒が、学校と社会とのつながりに気づ くことができる	56 26.2%	113 52.8%	44 20.6%	1 0.5%	214 100.0%
地域が、生徒や学校の実態を知ることが できる	60 28.0%	124 57.9%	29 13.6%	1 0.5%	214 100.0%
保護者が、生徒や学校の実態を知ること ができる	18 8.5%	85 40.1%	102 48.1%	7 3.3%	212 100.0%
教職員が、地域を知ることができる	65 30.4%	124 57.9%	24 11.2%	1 0.5%	214 100.0%
地域と学校とのつながりができる	76 35.5%	115 53.7%	22 10.3%	1 0.5%	214 100.0%
生徒と地域とのつながりができる	66 30.8%	109 50.9%	38 17.8%	1 0.5%	214 100.0%
体験する日数を増やした方が、効果が見 込める	70 32.7%	80 37.4%	53 24.8%	11 5.1%	214 100.0%
体験する日数を減らしても、効果は変わ らない	12 5.6%	34 15.9%	97 45.3%	71 33.2%	214 100.0%
教職員の理解が不十分である	7 3.3%	56 26.3%	116 54.5%	34 16.0%	213 100.0%
事業所等の理解が不十分である	6 2.8%	61 28.6%	123 57.7%	23 10.8%	213 100.0%
保護者の理解が不十分である	6 2.8%	58 27.2%	120 56.3%	29 13.6%	213 100.0%
教職員の負担が増加する	94 43.9%	89 41.6%	30 14.0%	1 0.5%	214 100.0%
生徒の負担が増加する	18 8.4%	60 28.0%	107 50.0%	29 13.6%	214 100.0%
他の体験活動で十分に補える	3 1.4%	18 8.4%	122 57.0%	71 33.2%	214 100.0%
準備の割に成果が期待できない	5 2.3%	31 14.5%	118 55.1%	60 28.0%	214 100.0%
事故・ケガ等が心配である	37 17.4%	83 39.0%	70 32.9%	23 10.8%	213 100.0%
予算の確保が困難である	18 8.5%	55 25.8%	104 48.8%	36 16.9%	213 100.0%
受け入れ先の確保が困難である	86 40.2%	85 39.7%	34 15.9%	9 4.2%	214 100.0%
自治体や公的機関の支援が必要である	105 49.1%	78 36.4%	28 13.1%	3 1.4%	214 100.0%
学校と事業所等とを仲介・調整するコー ディネーターが必要である	110 51.4%	68 31.8%	30 14.0%	6 2.8%	214 100.0%
合計	1,276 24.9%	1,961 38.2%	1,470 28.7%	422 8.2%	5,129 100.0%

上段：度数、下段：回答比率  
無回答（31）を除く

【自由記述】

- ・中学校での職場体験は、とてもよい活動だと思います。（事業所にとっても）特別支援学校の中学部の生徒にも、短発（1 日でも）の活動でも体験させてあげたいですが、高等部の生徒数が増加し、実習先の確保が厳しいこともあり、うちの学校では数年前から中学部の職場体験（現場実習）はなくなりました。
- ・職場体験だけをとってどうかと言うものではなく「生き方」を考えるうえで、長期的なものなかで職場体験をどのようにとらえるかが大切である。
- ・今年度、途中からコーディネーターに活躍してもらい、来年度に向け期待されます。
- ・警察、ロボットエンジニア、ゲームプログラマー、中学校の先生等、希望者が多いにも関わらず、体験が難しい職業はどうすればよいのか？今回は専門学校や大学へ行かせたが。
- ・生徒の事故はどうするのか？が一番心配である。
- ・自転車、車や徒歩で行けない生徒の足はどうするのか？→先生方が来るまでおくり迎えもあった。
- ・職種が少ない。
- ・職場体験が始まって 20 年たとうとしているが、毎年負担が多く、佐渡市で一括して活動できないか、校長会の要望、中教研部会などで提案しているが取り上げてもらえない。コーディネーターをつけ、校内外問わず組織的に取り組むことで、教育効果は大きいと思う。
- ・本学校の地域コーディネーターがいなかったらこの「職場体験」は不可能でした。基本教員が通常業務を行いながら交渉、仲介などは時間や業務のバランスを考慮すれば、できないはずです。
- ・職場体験をして生徒のスキルを高めても、生徒全員分の就職先は今の日本にはない。就職できないのは個人の責任ではないことを生徒に教えなければならない。生徒の人格を否定するようなことにつながるのであればそれは教育ではない。生徒の就職できる社会をつくるのが生徒の意欲や職業観を高めるのに最も効果的。

## 「職場体験」に関するアンケート調査

新潟青陵大学 岩崎研究室

このアンケートは、今年度（平成23年度）、新潟県内の中学校・中等教育学校・特別支援学校で「職場体験」を担当された先生方を対象にして、その実施状況等をうかがうことを目的としています。

- 「職場体験」とは、生徒が事業所等の職場で働くことを通して、職業や仕事の実際について体験したり、働く人々と接したりする学習活動を指します。見学や依頼だけの職場訪問や、事前の職業調べ等は除きます。
- 無記名式のアンケートですので、名前・学校名などをご記入になりませんようお願いします。
- アンケートの結果は、統計的に処理いたしますので、ご回答いただく先生や学校にご迷惑をおかけすることはありません。
- あてはまる番号に○をつけるか、回答欄に回答をご記入ください。あまり考え込まず、お答えになれる範囲でご回答ください。

【0】最初に、先生ご自身や、ご勤務校のことについてうかがいます。

0-1 教職経験年数をお聞かせください。(1つ)

1. ～4年目  
2. 5～9年目  
3. 10～19年目  
4. 20～29年目  
5. 30年目～

0-2 ご担当の教科は何ですか。(主なもの1つ)

1. 国語  
2. 社会  
3. 数学  
4. 理科  
5. 音楽  
6. 美術  
7. 保健体育  
8. 技術・家庭  
9. 外国語  
10. その他（具体的に：

0-3 今年度、学級担任をしましたか。(1つ)

1. 担任をした。
2. 副担任をした。
3. 担任をしなかった。

0-4 ご勤務校の学校種を、教えてください。(1つ)

1. 中学校
2. 中等教育学校（前期課程）
3. 特別支援学校（中学部）

0-5 ご勤務校の行政区は、どこですか。（1つ）

- |        |       |
|--------|-------|
| 1. 新潟市 | 3. 中越 |
| 2. 下越  | 4. 上越 |

0-6 ご勤務校の学区は、どのような地域ですか。（最も近いものを1つ）

- |            |         |
|------------|---------|
| 1. 住居地域    | 3. 工業地域 |
| 2. 農業・漁業地域 | 4. 商業地域 |

0-7 ご勤務校の特徴をお聞かせください。（1つずつ）

	あまり そう 思わ ない	や や そう 思 う	そ う 思 う	そ う 思 わ ない
① 教員の平均年齢が若い。	4	3	2	1
② 地域との交流がさかんである。	4	3	2	1
③ 教育熱心な保護者が多い。	4	3	2	1
④ P T A活動がさかんである。	4	3	2	1
⑤ 教員同士がお互いの実践について気軽に話し合える雰囲気がある。	4	3	2	1
⑥ 疲れている教員が多い。	4	3	2	1
⑦ 教員集団（管理職を含む）にリーダー役がいる。	4	3	2	1
⑧ 校内研究に力を入れている。	4	3	2	1
⑨ 生徒は落ち着いている。	4	3	2	1
⑩ 部活動が盛んである。	4	3	2	1
⑪ 勉強の得意な生徒が多い。	4	3	2	1
⑫ 学校の特色がはっきりしている。	4	3	2	1

【Ⅰ】 平成23年度中に実施した「職場体験」に関する“一連の学習活動”（事前指導、職場体験、事後指導）について、全体の流れやご実践の内容について伺います。

I-1 貴校では今年度、“一連の学習活動”を実施しましたか。（1つ）

1. 実施した。
2. 実施しなかった。（→以下の質問をとばして【Ⅲ】からご回答ください）

I-2 貴校では今年度、キャリア教育に関する全体計画を作成しましたか。（1つ）

1. 作成した。
2. 作成しなかった。

I－3 “一連の学習活動”の実施に先立って、どのような指導計画を作成しましたか。（1つ）

1. 学習指導案レベルの計画を作成した。
2. いつ、誰が、何をするかといった事務的な内容の計画を作成した。
3. 特に作成しなかった。

I－4 “一連の学習活動”の「単元名」がお分かりでしたら、お書きください。（自由記述）

--

I－5 事前指導（事前学習・事前準備）、職場体験、事後指導は、どの枠を用いて実施しましたか。（あてはまるマスに○）

【事前学習】…… 「職場体験」での課題発見、体験での調査内容、進路学習全般の内容等

【事前準備】…… 体験の内容、きまり、持ち物、マナー、安全等の基本事項の確認

	事前指導		職場体験	事後指導
	事前学習	事前準備		
総合的な学習の時間				
特別活動				
教科				
その他				

I－6 事前指導、職場体験、事後指導は、それぞれ何時間（何コマ）実施しましたか。（だいたいの数字を記入）

区分	事前指導		職場体験	事後指導
	事前学習	事前準備		
時間	時間	時間	時間	時間

I－7 事前指導における“事前学習”の場面では、何を行いましたか。（いくつでも）

1. 教員による職業全般の知識に関する講話
2. 教員による「職場体験」の目的、意義等に関する講話
3. 教員による職業観・勤労観に関する講話
4. 教員を交えた職業観・勤労観に関するグループ・ディスカッション
5. 外部講師による職業観・勤労観に関する講話
6. 外部講師を交えた職業観・勤労観に関するグループ・ディスカッション
7. 職業に関する新聞・雑誌記事の収集・分析
8. 職業に関するホームページの閲覧・分析
9. 学年全体やグループで探究する課題（テーマ）の設定
10. 個人で探究する課題（テーマ）の設定
11. 派遣先の担当者への質問（事業所や業務に関する事項）を考える
12. 派遣先の指導者への質問（志望理由ややりがい等に関する事項）を考える
13. 自分自身の職業適性や個性を把握する活動

続く→

14. 自己効力感や自尊感情を高めるエクササイズ
15. 社交性を高めるエクササイズ
16. 自分自身の進路や職業等を計画したり、生き方を考えたりする活動
17. 職場見学（派遣先とは限らない）
18. 派遣先に関する調べ学習
19. 派遣先の事前訪問
20. 生徒の個人面談
21. 教員・生徒・保護者による三者面談
22. 教員・生徒・事業所等の担当者による三者面談
23. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）
24. 特に何もなかった

I－8 「職場体験」（見学・事前訪問を除く）は、何年生で実施しましたか。（1つ）

1. 1年生
2. 2年生
3. 3年生

I－9 「職場体験」（見学・事前訪問を除く）は、どの時期に実施しましたか。（1つに○をつけて数字を記入）

1. 修学旅行と兼ねて（ \_\_\_\_\_ ）月
2. 夏休みなどの長期休暇中に（ \_\_\_\_\_ ）月
3. 上記以外の時期に（ \_\_\_\_\_ ）月

I－10 「職場体験」（見学・事前訪問を除く）は、何日間、実施しましたか。（1つ）

1. 半日～1日
2. 2日間
3. 3日間
4. 4日間
5. 5日間
6. 6日間以上（ \_\_\_\_\_ 日間）

I－11 「職場体験」（見学・事前訪問を除く）を経験した生徒の人数は、全部で何人でしたか。（数字を記入）

（ \_\_\_\_\_ ）人

I－12 「職場体験」で派遣する事業所等と受け入れの交渉を行ったのは、主に誰ですか。（1つ）

1. 「職場体験」実施の学年部
2. キャリア教育の推進委員会
3. 進路指導部
4. 総合的な学習の時間部
5. 特別活動部
6. 管理職
7. 教職員の中の特定の個人
8. 地域教育コーディネーター等の専門職員
9. 保護者
10. 生徒
11. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

- I－13 「職場体験」（見学・事前訪問を除く）を実施した事業所等の数は、いくつでしたか。（数字を記入）  
（ ）か所
- I－14 「職場体験」（見学・事前訪問を除く）で、1人の生徒が体験した事業所等の数は、何か所でしたか。（最も多かったケースを1つ）
1. 1か所
  2. 2か所
  3. 3か所以上
- I－15 「職場体験」（見学・事前訪問を除く）を実施した事業所等は、どのような職種でしたか。（いくつでも）
- |            |                 |
|------------|-----------------|
| 1. 農業      | 10. 出版・編集       |
| 2. 漁業      | 11. 医・歯・薬関係     |
| 3. 技術職     | 12. 介護・保育       |
| 4. 建築・土木関係 | 13. 理容・美容関係     |
| 5. 電気関係    | 14. 現場作業        |
| 6. 教育職     | 15. 配送          |
| 7. 調理・調理補助 | 16. 軽作業         |
| 8. 販売・接客業  | 17. 地方自治体・団体    |
| 9. 一般事務職   | 18. その他（具体的に： ） |
- I－16 「職場体験」（見学・事前訪問を除く）を受け入れた事業所等には、事前に説明を行いましたか。（最も多かったケースを1つ）
1. 直接訪問せず、電話・FAX・手紙等で説明した。
  2. 教員が訪問して説明した。
  3. 生徒が訪問して説明した。
  4. 教員と生徒と一緒に訪問して説明した。
  5. 担当者を学校に呼んで説明会を行った。
  6. その他（具体的に： ）
  7. 特に何もなかった。
- I－17 事業所等と生徒とのマッチングは、主にどのように行いましたか。（最も多かったケースを1つ）
1. 原則として、全て学校側が指定した。
  2. 事業所等のリストを示し、行きたい所を生徒に決めさせた。
  3. 希望する職種を選ばせてから、当該職種の事業所等を学校側が指定した。
  4. 希望する職種を選ばせてから、当該職種の事業所等を生徒に選ばせた。
  5. 原則として、生徒の希望を最優先にした。
  6. その他（具体的に： ）



I－18 「職場体験」実施中は、何を行いましたか。（最も多かったケースを1つ）

1. 教員が訪問して、担当者や指導者に生徒の様子をきいた。
2. 教員が訪問して、生徒に様子をきいたり、指導をしたりした。
3. 教員が訪問して、一緒に職場体験をした。
4. 電話で、担当者や指導者に生徒の様子をきいた。
5. 電話で、生徒に様子をきいたり、指導をしたりした。
6. 事業所等や生徒に任せていた（学校で待機していた）。
7. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

I－19 事後指導の場面では、何を行いましたか。（いくつでも）

1. 派遣先への礼状書き
2. 派遣先への事後訪問
3. 教員による職業全般の知識に関する講話
4. 教員による職業観・勤労観に関する講話
5. 教員を交えた職業観・勤労観に関するグループ・ディスカッション
6. 外部講師による職業観・勤労観に関する講話
7. 外部講師を交えた職業観・勤労観に関するグループ・ディスカッション
8. 事前学習で収集した情報の整理・分析
9. 派遣先の事業所等で調査した情報の整理・分析
10. 学年全体やグループで設定した学習課題（テーマ）の考察
11. 個人で設定した学習課題（テーマ）の考察
12. 個人での体験記録、感想文の執筆
13. 個人でのレポート（新聞、模造紙のまとめ等を含む）の作成
14. グループでのレポート（新聞、模造紙のまとめ等を含む）の作成
15. グループ相互による「職場体験」交流会
16. 学年全体による「職場体験」発表会
17. 教科で発展的に学習する課題の設定
18. 「総合的な学習の時間」で探究する新たな課題の設定
19. 自分自身の職業適性や個性を把握する活動
20. 自己効力感や自尊感情を高めるエクササイズ
21. 社交性を高めるエクササイズ
22. 自分自身の進路や職業等を計画したり、生き方を考えたりする活動
23. 生徒の個人面談
24. 教員・生徒・保護者による三者面談
25. 教員・生徒・事業所等の担当者による三者面談
26. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）
27. 特に何もなかった

I-20 “一連の学習活動”に取り組んだ生徒の評価は、何に基づいて行いましたか。（いくつでも）

- １．生徒の自己評価（アンケート等）
- ２．評価規準表を用いた教員の観察
- ３．生徒の態度や取り組みの様子の観察
- ４．事業所等からの評価票
- ５．保護者からの評価票
- ６．生徒の体験日誌、作文、レポート等
- ７．職場体験発表会等の発表内容
- ８．その他（具体的に：　　　　　　　　）
- ９．特に評価はしなかった

【Ⅱ】 上記【Ⅰ】でお答えいただいたご実践について、留意されたことや、成果と課題をうかがいます。

Ⅱ－１ 以下の事項は、どの程度、意識しましたか。（１つずつ）

		意識した	やや意識した	あまり意識しなかった	意識しなかった
<b>【全体】</b>					
①	生徒に育てたい力を、指導計画で明確にした。	4	3	2	1
②	教科との結びつきを意識して、内容や実施時期等を考えた。	4	3	2	1
③	道徳との結びつきを意識して、内容や実施時期等を考えた。	4	3	2	1
④	総合的な学習の時間との関連を意識して、内容や実施時期等を考えた。	4	3	2	1
⑤	特別活動との関連を意識して、内容や実施時期等を考えた。	4	3	2	1
<b>【事前・事後指導】</b>					
⑥	グループによる協同的な学習を積極的に行った。	4	3	2	1
⑦	情報を整理・分析したり、表現したりするなど、言語による活動を積極的に行った。	4	3	2	1
⑧	自己を理解したり、将来の生き方を考えたりする活動を積極的に行った。	4	3	2	1
⑨	地域の人や専門家など、学校外の人材を積極的に活用した。	4	3	2	1
⑩	公民館や博物館など、地域の社会教育施設を積極的に活用した。	4	3	2	1
<b>【職場体験】</b>					
⑪	過去に派遣した事業所等に、学校だよりや年間行事予定表を届けるなど、普段からのつながりを絶やさないようにした。	4	3	2	1
⑫	派遣先での体験が充実するように、事業所等に「職場体験」の趣旨をていねいに説明したり、体験内容を協議したりした。	4	3	2	1
⑬	「職場体験」が、問題の解決や探究の過程（課題の設定→情報の収集→整理・分析→まとめ・表現）に位置づくよう、内容や実施時期等を考えた。	4	3	2	1
<b>【評価】</b>					
⑭	評価カードや評価規準表など、評価に関する準備を意識的に行った。	4	3	2	1
⑮	評価した結果を生徒に知らせたり、補充指導したりすることを意識的に行った。	4	3	2	1

Ⅱ－２ ご実践の成果として考えられる生徒の姿について、おきかせください。（１つずつ）

	あまり そう 思わない	やや そう 思う	そう 思う
① 地域の特色やよさを実感し、地域に愛着を持つようになった。	4	3	2
② 言葉づかい、あいさつ、返事等がよくなった。	4	3	2
③ 自分の考えを、より適切に表現できるようになった。	4	3	2
④ 協力して仕事や活動をするようになった。	4	3	2
⑤ 自分自身を見つめたり、大切にしたりするようになった。	4	3	2
⑥ 自信がついてきた。	4	3	2
⑦ 個性が伸びた。	4	3	2
⑧ 責任感が増した。	4	3	2
⑨ 与えられた仕事や課題に確実に取り組むようになった。	4	3	2
⑩ 自ら問題を解決しようとするようになった。	4	3	2
⑪ 学習への意欲が向上した。	4	3	2
⑫ 進路に関する情報を収集するようになった。	4	3	2
⑬ 自分に適した職業を考えたり、将来を設計したりするようになった。	4	3	2
⑭ 学校不適応や問題行動、長期欠席等が減少した。	4	3	2
⑮ 学校が好きになった。	4	3	2
⑯ その他（具体的に ↓）			

Ⅱ－３ ご実践の課題について、おきかせください。（１つずつ）

	あまり そう 思わない	やや そう 思う	そう 思う
① 全体的に盛り上がらなかった。	4	3	2
② 全体計画や指導計画の作成が不十分だった。	4	3	2
③ 準備や交渉に充てる時間が十分に確保できなかった。	4	3	2
④ 予算が不足していた。	4	3	2
⑤ 事前指導（事前学習・事前準備）が不十分だった。	4	3	2
⑥ 「職場体験」する日数が足りなかった。	4	3	2
⑦ 生徒が希望した職種・事業所等に派遣できなかった。	4	3	2

続く→

	4	3	2	1
8 生徒が希望した業務を、派遣先で体験できなかった。	4	3	2	1
9 事前学習で準備した調査等が、十分できなかった。	4	3	2	1
10 事後指導が不十分だった。	4	3	2	1
11 期待したほど、生徒に成長や変化が見られなかった。	4	3	2	1
12 評価が不十分だった。	4	3	2	1
13 その他（具体的に ↓）				

【Ⅲ】 「総合的な学習の時間」全般について、先生のお考えをうかがいます。（1つずつ）

	4	3	2	1
1 情熱をもって積極的に取り組んでいる。	4	3	2	1
2 「総合的な学習の時間」の専門書や事例集をよく読んでいる。	4	3	2	1
3 同僚や管理職とよく話し合いながら進めている。	4	3	2	1
4 教材作成や打ち合わせなど、授業の準備の負担が増えた。	4	3	2	1
5 教科の授業の準備時間が減った。	4	3	2	1
6 時間割を柔軟に変更できなくなった。	4	3	2	1
7 「総合的な学習の時間」に充てる予算を増やすべきである。	4	3	2	1
8 「総合的な学習の時間」は成功している。	4	3	2	1
9 国で指導内容や学習活動を明確に示すべきである。	4	3	2	1
10 「総合的な学習の時間」を担当する専門の教員を置くべきである。	4	3	2	1
11 理念はよいが、現実的ではない。	4	3	2	1
12 保護者や地域との連携を強めるチャンスである。	4	3	2	1
13 特色ある学校づくりに効果がある。	4	3	2	1
14 職業や進路に関するテーマに一本化すべきである。	4	3	2	1
15 その他（具体的に ↓）				

【Ⅳ】 「職場体験」全般について、先生ご自身のお考えをうかがいます。（１つずつ）

		あ ま り そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	や や そ う 思 う	そ う 思 う
①	生徒が、学校で学んでいることの意味や必要性を理解することができる。	4	3	2	1
②	生徒が、働くことの大切さに気づくことができる。	4	3	2	1
③	生徒が、自分の保護者や大人への接し方を変えることができる。	4	3	2	1
④	生徒が、社会のルールやマナーの大切さに気づくことができる。	4	3	2	1
⑤	生徒が、学校と社会とのつながりに気づくことができる。	4	3	2	1
⑥	地域が、生徒や学校の実態を知ることができる。	4	3	2	1
⑦	保護者が、生徒や学校の実態を知ることができる。	4	3	2	1
⑧	教職員が、地域を知ることができる。	4	3	2	1
⑨	地域と学校とのつながりができる。	4	3	2	1
⑩	生徒と地域とのつながりができる。	4	3	2	1
⑪	体験する日数を増やした方が、効果が見込める。	4	3	2	1
⑫	体験する日数を減らしても、効果は変わらない。	4	3	2	1
⑬	教職員の理解が不十分である。	4	3	2	1
⑭	事業所等の理解が不十分である。	4	3	2	1
⑮	保護者の理解が不十分である。	4	3	2	1
⑯	教職員の負担が増加する。	4	3	2	1
⑰	生徒の負担が増加する。	4	3	2	1
⑱	他の体験活動で十分に補える。	4	3	2	1
⑲	準備の割に成果が期待できない。	4	3	2	1
⑳	事故・ケガ等が心配である。	4	3	2	1
㉑	予算の確保が困難である。	4	3	2	1
㉒	受け入れ先の確保が困難である。	4	3	2	1
㉓	自治体や公的機関の支援が必要である。	4	3	2	1
㉔	学校と事業所等とを仲介・調整するコーディネーターが必要である。	4	3	2	1
㉕	その他（具体的に ↓）				

- 質問はこれで終わりです。ご多用のところ、たいへんにありがとうございました。
- 添付の封筒に入れて、**3月9日（金）**までに、お近くのポストへ投函してください。
- 調査結果（短報・詳報）は、それぞれがまとまり次第、各学校へお届けします。

---

## 中学校「職場体験」に関するアンケート調査報告書

2012（平成 24）年 7 月 7 日

© 岩崎保之 IWASAKI, Yasuyuki

編集・発行 新潟青陵大学 看護福祉心理学部 岩崎研究室

〒 951-8121 新潟市中央区水道町 1 丁目 5939 番地

TEL & FAX : 025-266-9573

E-Mail : [iwasaki@n-seiryu.ac.jp](mailto:iwasaki@n-seiryu.ac.jp)

---